

第4回在宅医療・介護スクラム塾（多職種連携研修会）オンライン

講演：『訪問リハビリテーション ～訪問リハビリって何するの？～』

講師：クリニック安里 訪問リハビリテーションセンター
作業療法士 末吉 珠代 氏

○日時：令和4年11月17日（木） 午後7時00分～8時30分

○場所：Zoomを使用したのオンライン研修会

○参加者：47名

（医師2名、歯科医師2名、看護師1名、薬剤師1名、栄養士1名、介護職1名、
歯科衛生士2名、ケアマネジャー・ケアプランナー12名、リハビリ18名、その他7名）

- 【目的】①那覇市における在宅医療を推進し、切れ目ない提供体制を構築するため、在宅医療に必要な基本知識を体系的に学ぶ。
②各職能団体と連携することにより多職種チームビルディングの促進を図る。
③在宅実地研修（訪問診療同行）を組み合わせることにより、在宅医療の実際について学び、連携を強化する。
④感染対策のため、オンラインにて研修会を実施する。より多くの専門職に学んでいただくために事後配信も行う。

【対象】医療・介護関係者

【方法】Zoomでの研修会、グループワーク（事例検討 ⇒ 多職種それぞれの視点から意見交換）

【結果】アンケートを参照下さい。

【考察】参加者は、リハビリ職が最も多く33%、次いでケアマネジャー・プランナー29%であった。「訪問リハビリについて理解できたか」について、「とてもできた」、「できた」が100%であった。参加者より、「単なる機能訓練のみではなく、QOL向上に向けた介入、生命維持や緩和ケアなど利用者の想いに寄り添い、非常に多種多様な介入ができる重要な職種であることがわかった」等の感想があった。



講師：末吉 珠代 氏



全過程修了マイスター授賞者（8人目）

末吉 珠代 様

（クリニック安里 訪問リハビリテーションセンター）

おめでとうございます!!



司会：長嶺 勝 氏



日時：令和4年11月17日（木） 19：00～20：30

場所：Zoomによるオンライン研修会

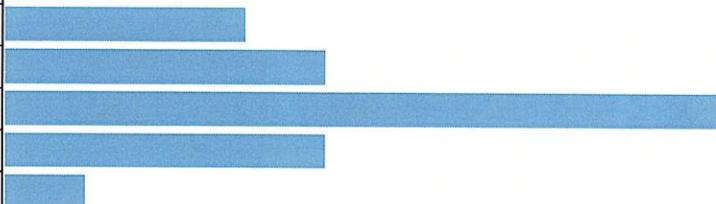
講師：クリニック安里 訪問リハビリテーションセンター 作業療法士 末吉 珠代 氏

参加者：47名（医師2名、歯科医師2名、看護師1名、薬剤師1名、栄養士1名、歯科衛生士2名、
 ケアマネジャー・プランナー12名、リハビリ18名、介護職1名、その他7名）

アンケート回答者：21名

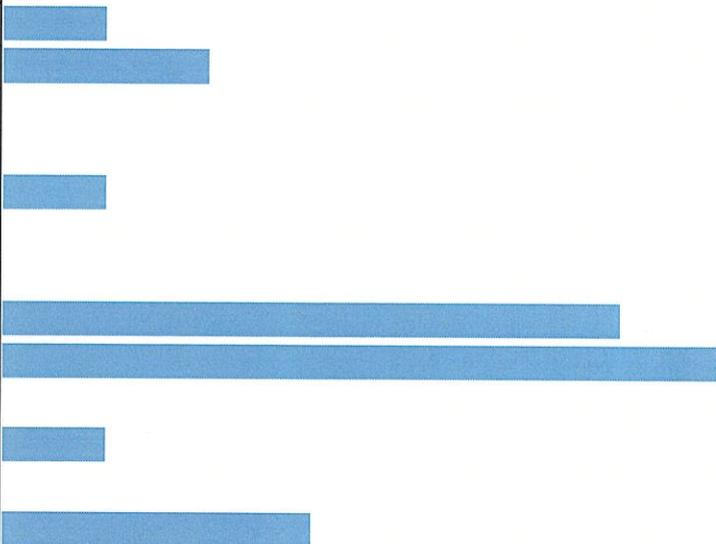
1. 経験年数について

経験年数	人数	割合
1年未満	0	0%
1～5年未満	3	14%
6～10年未満	4	19%
11～20年未満	9	43%
21～30年未満	4	19%
31年以上	1	5%
総計	21	100%



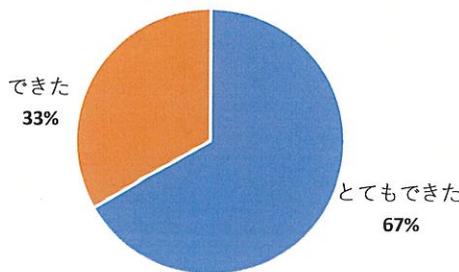
2. 職種の内訳

職種	人数	割合
医師	1	5%
歯科医師	2	10%
看護師	0	0%
保健師	0	0%
薬剤師	1	5%
栄養士	0	0%
MSW	0	0%
ケアマネジャー・ケアプランナー	6	29%
リハビリ	7	33%
社会福祉士	0	0%
介護職（ヘルパー等）	1	5%
歯科衛生士	0	0%
その他	3	14%
総計	21	100%



3. 領域別セッション「訪問リハビリ」について理解できましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	14	67%
できた	7	33%
まあまあできた	0	0%
できなかった	0	0%
総計	21	100%



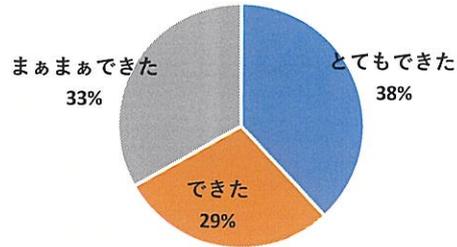
4. 演題：『訪問リハビリ』（講師：末吉 珠代 氏）について、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

- ・専門職として、他職種に訪問リハビリの魅力伝えていただきありがとうございました。
- ・訪問リハについて再認識しました。
- ・リハビリ勧めたくなった。
- ・とてもわかりやすかったです。
- ・私も訪問リハビリのイメージが変わりました。自分の身の回りでも、必要に応じて案内出来ると感じました。参加して良かったです。
- ・訪問リハビリについて全く知らなかったし、運動したりするリハビリだけのイメージがあったので、イメージも変えられたし、理解が深まって良かったです。
- ・機能的な訓練だけでなく、生命維持や緩和ケアなど、「利用者の想いに寄り添うリハビリ」の視点を理解することができ、在宅生活を継続させるためにとても重要な職種であると感じました。
- ・訪問リハを導入する機会が増え、利用者さんの生活の質の向上に協力していただいています。がん末期の方の支援で訪問リハを導入したことはないの今回いろいろと考えさせられました。ありがとうございます。
- ・大変分かりやすい丁寧なご講義ありがとうございました。訪問リハの対象者というのは乳児から高齢者まで幅広く、関わる内容も単なる機能訓練のみではなく、ADLやIADLの介入をはじめ就労、趣味活動、ボランティア活動、社会参加への取り組みなどQOL向上に向けた介入、ターミナルの利用者の場合におけるご本人様・ご家族様の身体的・精神的負担軽減など、非常に多種多様な介入が出来るサービスであることを示してくれました。今後、介護保険サービスにおいて訪問リハの活用頻度が増え、地域で暮らすご利用者様へ適切なサービスが組み込まれることを切に願っております。リハビリ専門職の一員として、今後も訪問リハの果たすべき役割、多種多様な介入ができることの啓発活動を実施して参ります。
- ・訪問リハビリについての熱心な講義を聴けて良かったです。
- ・グループワークでベテランのCMさん3名と訪看PTの方と一緒に、皆さんが介護保険の点数制限や医療保険を使えるか等、具体的に想定されていて大変勉強になりました。今回のケースでは、疼痛緩和リラクゼーションという視点で、CMさんにリハビリとマッサージどちらを入れるかと質問させて頂きました。「看護ステーションが入る前提として、連携という意味で同じステーションのリハビリを優先する」という回答がありました。リハビリとマッサージは定義上目的は異なるものの、訪問の現場においては両者ともにマッサージ・運動をしていることも多々あります。制度上の問題もありますが、介護度のレベル・回復の見通しや症状に応じて、またご本人の要望に応じて、CMさんが優先順位やタイミングを分かりやすいような具体例を提示することで、多職種連携の1つとして認知して頂けるようになるのかなと思いました。訪問マッサージも介入のタイミングが大事、マッサージすることだけが役割でなく、生活（人生）に寄り添い支援する、という意味ではやはり共通していることを改めて感じました。
- ・訪問リハビリのプロフェッショナル！
- ・ターミナルでリハビリというイメージがなく、訪看だよねという考えだったため目からウロコでした。15年前の私に教えてあげたいです。しかし、当時の私が活動していた地域は訪リハがなく大変でした…
- ・分かりやすい講義有難うございました。事例検討では歯科衛生士さんの意見が聞けて勉強になりました。有難うございます。
- ・訪問リハがこれまで自事業所の利用者に介入していることがあったが、具体的に何をどのように実施しているのかわかりにくかった。今回は本人や家族の思いを組んで、寄り添った取り組みを実施しているということを知り、利用者の生きがいを作ることができる職種だと感じた。
- ・様々なアプローチができるからこそ、たくさんの可能性を考慮して、勉強して、知識を膨らませておかなければならぬと感じました。色々な職種の方との関わりも大事だと感じました。
- ・あまり触れる機会が少ないサービスなので、今回取り上げてもらい、詳しい内容を聴けて良かったです。こういう利用者さんに使えるサービスについて、セミナーがあれば、ぜひとも参加したいです。
- ・心身に障害がある者が社会人としての生活ができるように、最も充実して生活できるように計画書を作成していこうと考えます。

・あまり知らなかったのですが、今回、作業療法士さんのお仕事がとても幅広いことを知りました。もっと介入が早ければ、、、というお話もありましたが、最後までお役に立っていらっしやるので本当に重要なお仕事だと感じました。ありがとうございました。

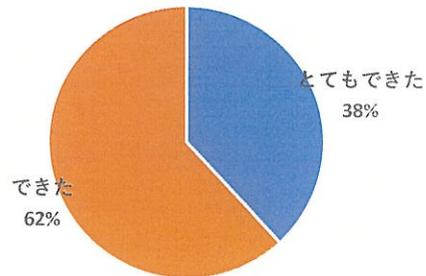
5. グループワークでは、ご自身の意見を遠慮なく発言することができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	8	38%
できた	6	29%
まあまあできた	7	33%
できなかった	0	0%
総計	21	100%



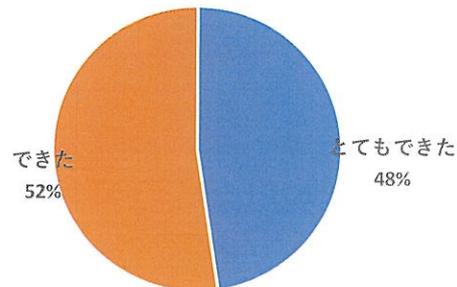
6. 在宅医療・介護の視点について学ぶことができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	8	38%
できた	13	62%
まあまあできた	0	0%
できなかった	0	0%
総計	21	100%



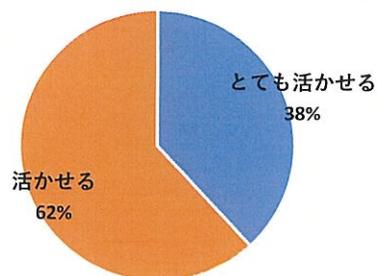
7. 多職種の状況を理解することができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	10	48%
できた	11	52%
まあまあできた	0	0%
できなかった	0	0%
総計	21	100%



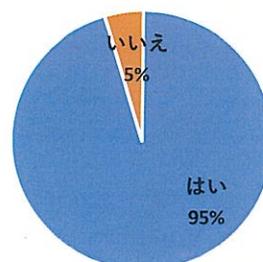
8. 明日からの業務に活かせますか。

選択肢	人数	割合
とても活かせる	8	38%
活かせる	13	62%
まあまあ活かせる	0	0%
活かさない	0	0%
総計	21	100%



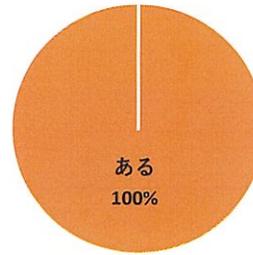
9. 現在、在宅医療・介護に従事していますか。

選択肢	人数	割合
はい	20	95%
いいえ	1	5%
総計	21	100%



10. 在宅医療・介護に関心がありますか。(問9で「いいえ」と回答した方への質問)

選択肢	人数	割合
とてもある	0	0%
ある	1	100%
まあまあある	0	0%
ない	0	0%
総計	1	100%



11. 今後、在宅医療・介護に関わってみたいと思いますか。(問9で「いいえ」と回答した方への質問)

選択肢	人数	割合
とても思う	0	0%
思う	1	100%
まあまあ思う	0	0%
思わない	0	0%
総計	1	100%

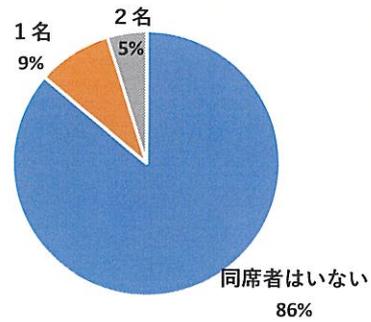


12. 今回の在宅医療・介護スクラム塾の全体を通して、ご意見・ご感想をお聞かせください。

- ・他業種と交流できるので良いと思う。
- ・いつも自分の専門以外の考え方、取り組み方を聞け、新たな発見があります。有難うございます。
- ・難しい議題でしたが、活発な意見交換ができましたし、さまざまな考え方を聞くことができて良かったです。
- ・利用者の在宅生活において、他職種との連携は必須だと改めて感じました。お互いの職種の特性や連携方法がたくさんあると感じ、今後のケアに活かしていきたいと思いました。他職種の意見が聞けて、とても勉強になりました、ありがとうございました!!
- ・ケアマネに進行をふるのはいいかと思いますが、もう少し進め方や段取りの説明が欲しいです。
- ・良い企画をありがとうございました。
- ・初めて参加しましたが、もっと多くの参加者がいるものだと思っていました。多職種の専門の方々と意見を交わせたことが刺激になりました。(グループ内に歯科医師の方がいたので)
- ・色々な職種の方がいて、役割を伺えためになります。顔が見える関係と言いますが、zoomだと発言だったりがないと難しく…
- ・各職種の取り組みを知ることができる、楽しい研修です。今現在はこの研修に参加することで勉強になってますが、現場で多職種と関わっていくことで、もっと知りたいことが出てくるだろうと思います。
- ・リモートは便利ですが、やはり慣れません。
- ・会の進行は適切で、グループワークも面白く参加でき、いろんな立場の方の話がいただけて良かったです。
- ・リモート研修は、まだ慣れていなく反省点が多かった。コロナ感染症は早く終了してほしいと思いました。
- ・調剤薬局の薬剤師としてあまり在宅に関わっていない自分ですが、他職種の皆さんのお仕事を知り皆さんの取り組みを伺うことで勉強になっています。いつもありがとうございます。

13. 受講時、同席者は何名いらっしゃいましたか。

選択肢	人数	割合
同席者はいない	18	86%
1名	2	9%
2名	1	5%
3名	0	0%
4名	0	0%
5名	0	0%
6名以上	0	0%
総計	21	99%



14. 同席者の職種について教えてください。（問13で同席者の数を回答した方への質問）

職種	人数	割合
医師	0	0%
歯科医師	0	0%
看護師	0	0%
保健師	0	0%
薬剤師	0	0%
栄養士	0	0%
MSW	0	0%
ケアマネジャー・ケアプランナー	2	50%
リハビリ	2	50%
社会福祉士	0	0%
介護職（ヘルパー等）	0	0%
歯科衛生士	0	0%
その他	0	0%
	4	100%